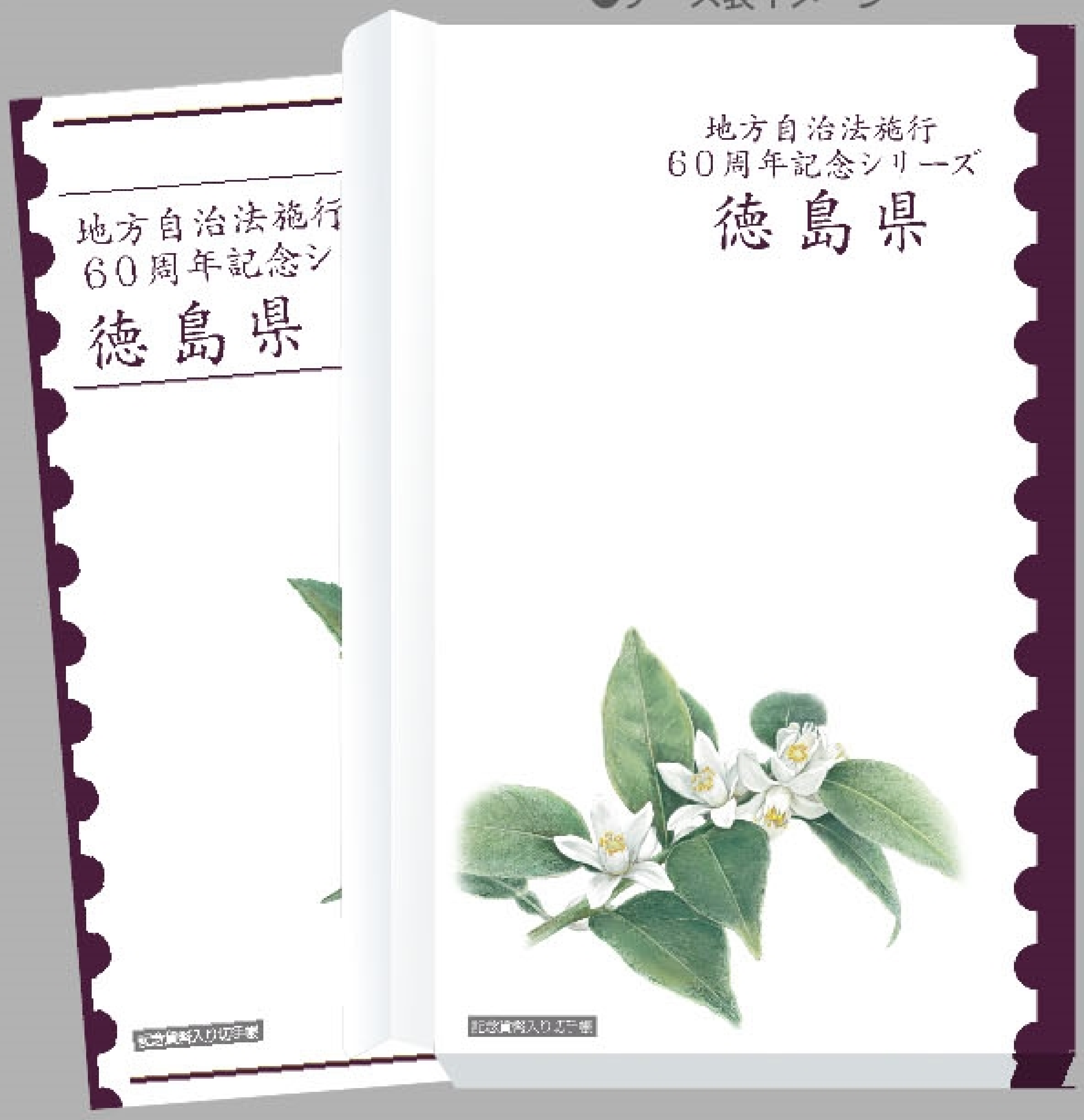
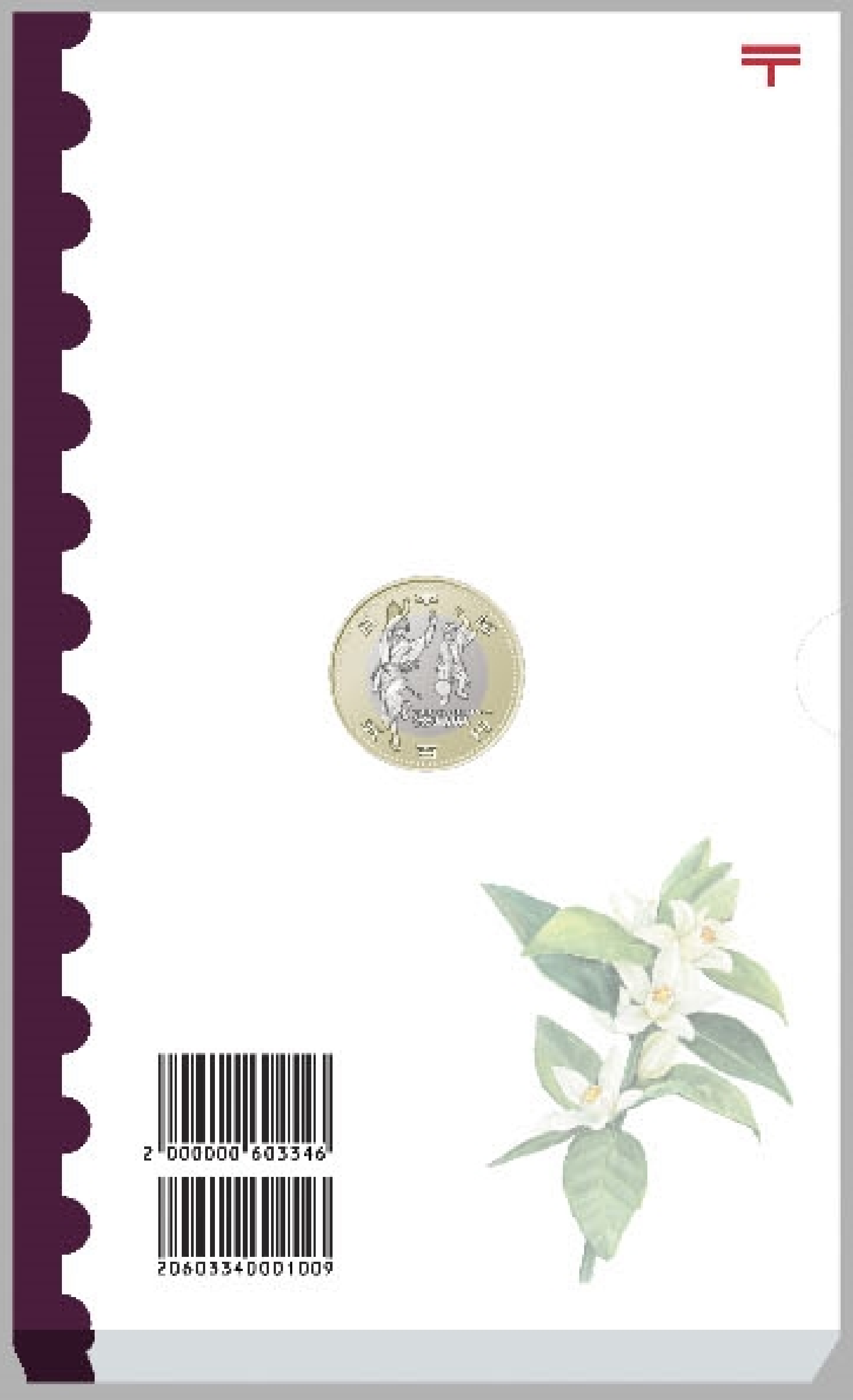
記念貨幣入りハードカバー切手帳（徳島県）

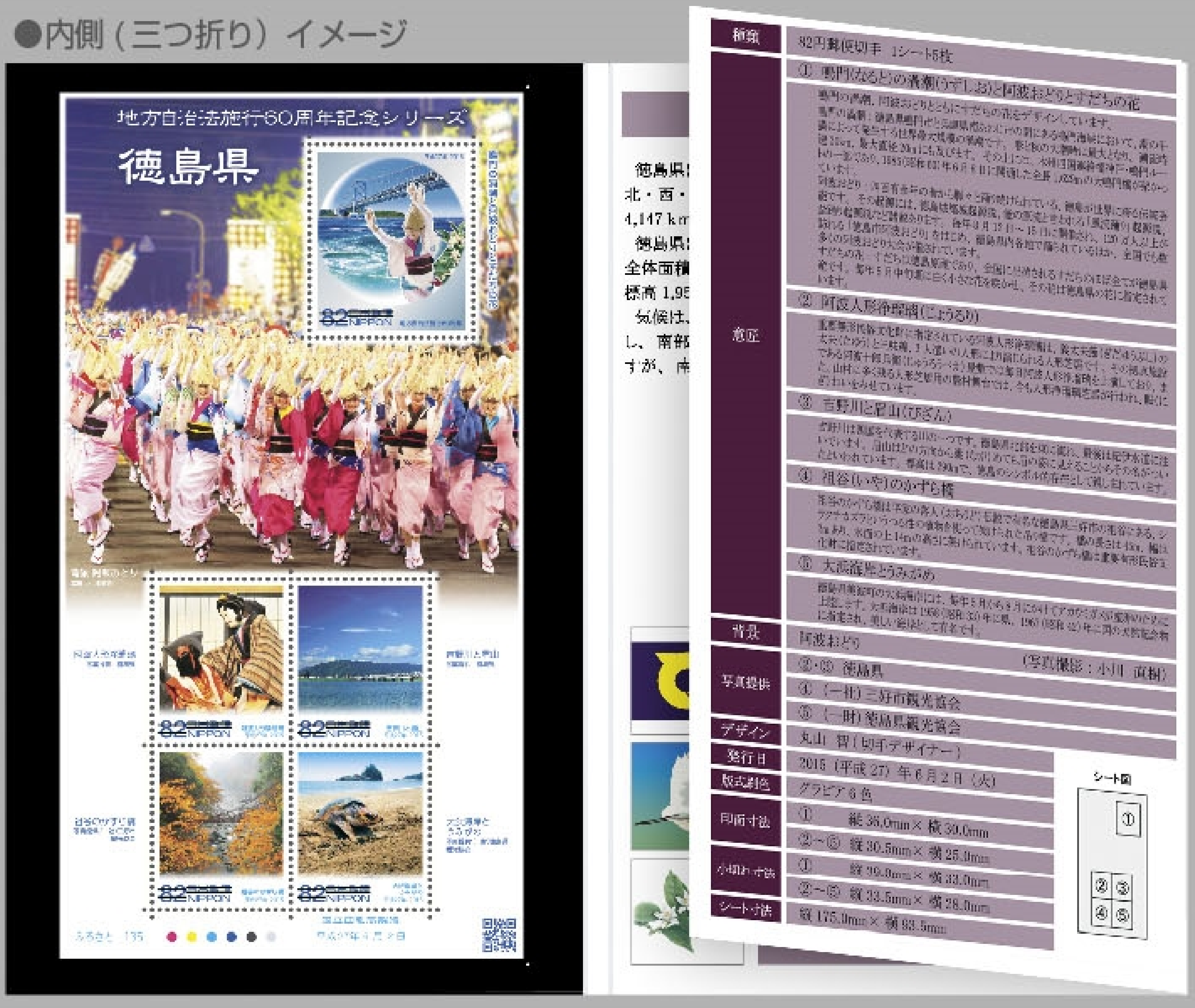
●ケース表イメージ


地方自治法施行
60周年記念シリーズ
徳島県
記念貨幣入り切手帳

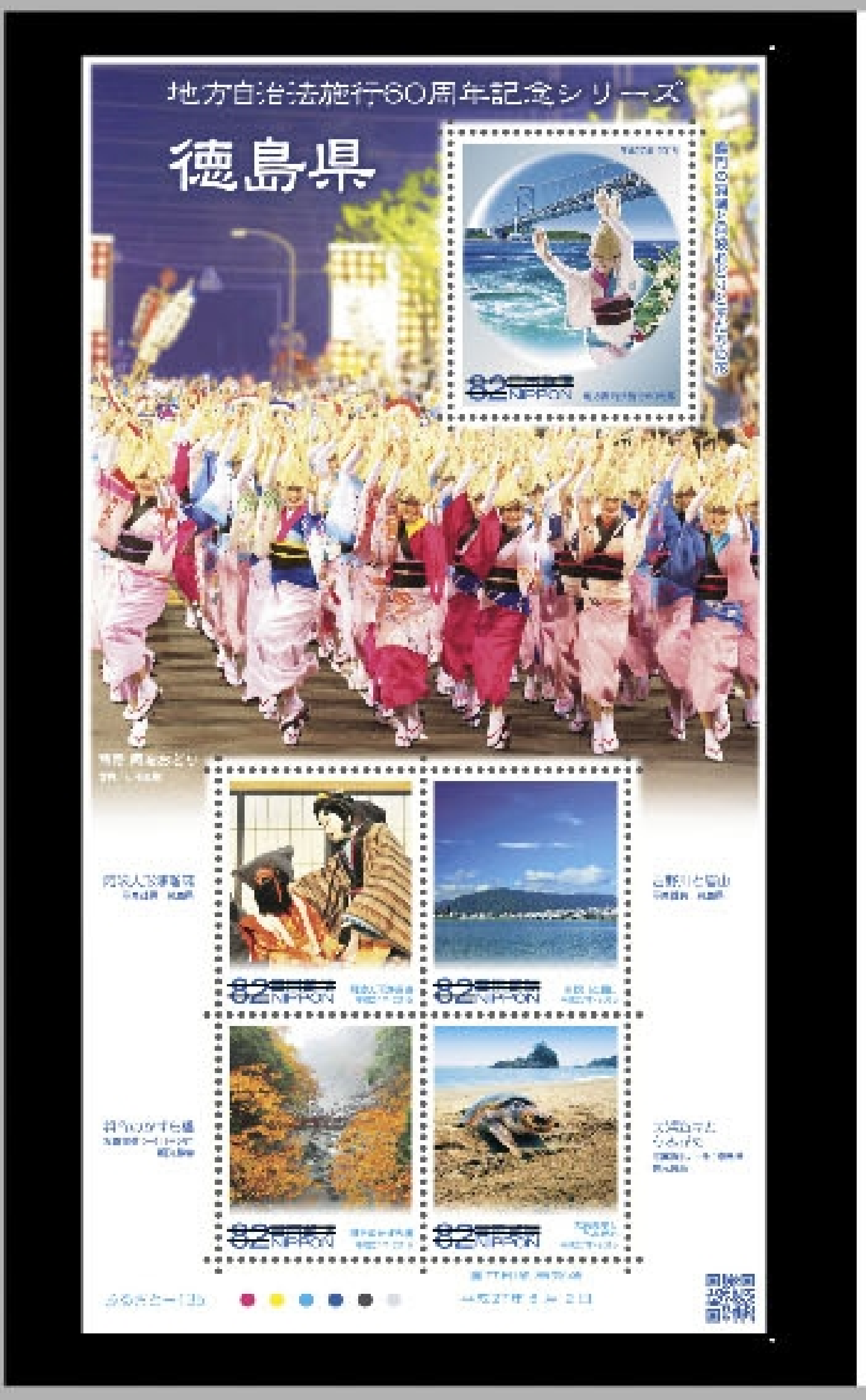
●ケース裏イメージ


2 000000 603346
2060334000100９

●内側（三つ折り）イメージ


地方自治法施行60周年記念シリーズ
徳島県
82 NIPPON
シート図
①
②③
④⑤

種類	82円郵便切手　1シート5枚
意匠	① 鳴門（なると）の渦潮（うずしお）と阿波おどりとすだちの花 ② 阿波人形浄瑠璃（じょうるり） ③ 吉野川と眉山（びざん） ④ 祖谷（いや）のかずら橋 ⑤ 大浜海岸とうみがめ
背景	阿波おどり　（写真撮影：小川 直樹）
写真提供	②・③ 徳島県 ④ （一社）三好市観光協会 ⑤ （一財）徳島県観光協会
デザイン	丸山 智（切手デザイナー）
発行日	2015（平成27）年6月2日（火）
版式刷色	グラビア6色
印面寸法	① 縦36.0mm × 横30.0mm ②～⑤ 縦30.5mm × 横25.0mm
小切れ寸法	① 縦39.0mm × 横33.0mm ②～⑤ 縦33.5mm × 横28.0mm
シート寸法	縦175.0mm × 横93.5mm


地方自治法施行60周年記念シリーズ
徳島県
82 NIPPON

徳島県

徳島県は四国の東部に位置しており、東は紀伊水道、南東は太平洋に面し、北・西・南は山地を境に香川県、愛媛県、高知県に接しています。面積は約4,147 k㎡、8市15町1村の24市町村からなっています。

徳島県は瀬戸内海・紀伊水道・太平洋に面している一方で、山地も多く、県全体面積の約8割を占めています。県内の最も高い山は四国山地中の剣山で、標高1,955m、四国第2の高山です。

気候は、大きく2つの気候区に大別されます。北部は瀬戸内海式気候に属し、南部は太平洋側気候に属しています。北部は全国的に見て少雨地域ですが、南部は日本でも有数の多雨地域となっています。

徳島県章
「とくしま」の「とく」を図案化し飛鳥としたもので、融和、団結、雄飛、発展の県勢を簡明に表現しています。
（1966（昭和41）年3月18日制定）

徳島県の鳥（しらさぎ）
サギ科の鳥のうち、全身の羽毛が白いものをシラサギと呼び、県下に広く見られます。シラサギの美しい純白の姿は、平和のシンボルとして県民に親しまれています。
（1965（昭和40）年10月1日指定）

徳島県の花（すだちの花）
みかん科に属し、毎年5月中旬頃白い小さい花を咲かせます。古くから徳島県に生育し、果実はさわやかな味覚で親しまれ、県の特産品となっています。
（1974（昭和49）年10月4日指定）

5百円バイカラー・クラッド貨幣

バイカラー・クラッド貨幣とは、2種類の異なる金属を組み合わせる「バイカラー」技術と、金属板を異なる種類の金属板で挟み込む「クラッド」技術を組み合わせたものです。

（徳島県）表面『阿波おどり』

○ 阿波おどりの女おどり（左）と男おどり（右）をデザインしています。
※阿波おどり：四百有余年の昔から脈々と踊り続けられている、徳島が世界に誇る伝統芸能。その起源には、徳島城築城祝賀説、中世の芸能と言われる「風流踊り」起源説、盆踊り起源説など諸説ある。毎年8月12日～15日に開催され、120万人以上が訪れる「徳島市阿波おどり」をはじめ、徳島県内各地で踊られているほか、全国でも数多くの阿波おどり大会が催される。

TOKUSHIMA
徳島県

（各都道府県共通）
裏面『古銭のイメージ』

5百円バイカラー・クラッド貨幣の概要

額面	5百円
素材	ニッケル黄銅、白銅及び銅
品位	銅75%、亜鉛12.5%、ニッケル12.5%
量目	7.1グラム
直径	26.5ミリメートル
その他の特徴	異形斜めギザ、潜像等